

今期の活動の重点

20期の活動テーマは、前期に引き続きこれまでの活動の総括と今後の活動方向の策定と組織体制の必要な刷新を会員参加で行う事です。

また、認定特定非営利活動法人に認定されたことから活動内容や組織運営について法令遵守や社会貢献が強く求められます。会の活動への寄付については税制優遇措置が可能となりますが、寄せられた寄付金の使途についての透明性が重要です。そのため、会員にとっては当然ですが対外的にも分かりやすい組織運営や活動となるよう、改善や工夫を行います。

加えて、昨年度は弱かった東日本大震災の復旧支援にも取り組みます。

- 1) 会員に参加を呼びかけ、活動の総括と今後の活動方向の策定と組織体制の刷新に取組ます。
- 2) 「木造建築サポートセンター」の構想の具体化を検討します。
- 3) 「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」及び「京都市文化財マネージャー上級講座」を事務局団体として継続開講します。
また、部会ならびにKOMOの活動により、古建築の保存・活用に対する支援や文化財登録を推進します。
- 4) 見学会・勉強会・講習会・シンポジウム等を開催し、古建築や再生建築の良さを市民等に普及啓発する活動を行います。HPや広報活動の充実を図り、会の活動と理念への理解を広げます。
- 5) 会員の相互交流や国や地方行政機関を含む関連団体との連携や相互理解に努めます。
- 6) 財政を含め会の実務を見直し、新たに寄付及び法令遵守の担当理事などを設置し、事務局機能の強化と活動の透明化に取り組みます。

(1) 利用相談部会

- ① 建物の保存・再生や古材利活用等に関する助言、提案を行います。
- ② 歴史ある建物調査室やKOMOをはじめ、各地の会員とも協力し、保存・再生に関する提案の充実に努めます。
- ③ 実例をとおして、再生に関する勉強会、見学会を行います。

(2) 企画部会

引き続き企画部会の企画は一般の人(専門的になり過ぎないような企画)が参加できる企画を検討・実施します。

20期の活動予定は以下のとおりです

- ① 先達の口伝、全国集会の開催を行います。
- ② 歴史ある建築や文化遺産を訪ねる見学会を開催をします。(2回)
- ③ 古材のリユースと建物のメンテナンスを実習などで学ぶワークショップ「住まいの学校」を開催します。(3回)
- ④ 普及啓発に関する催事や印刷物発行を企画します。(随時)
- ⑤ 甲乙塾のような多年度に渡り実践を通じて学ぶ講座の開催を検討しま

す。例えば、門や中門の改修と庵庭園整備のための実践講座を数年にわたり開催する等です。

⑥門、中門改修費用捻出のためにフリーマーケットを開催します。(利用相談部会＋企画部会)

⑦企画部会の活動方法及部会経費について検討し、ルール化します。

(3) KOMO＝古材文化の会伝統建築保存・活用マネージャー会

①まち歩きや見学会・勉強会などの企画を、世話人会が中心となって増やしていきます。

②現在進んでいるプロジェクトの応援や、新たなプロジェクトが立ち上がりやすくなるよう支援を行います。

③「残したい建物見守るシステム」構築にあたり、マネージャーとしてのかかわり方を議論し、試運転の際には積極的にかかわっていきます。

④「京を彩る・・・」調査など、行政からの委託業務に対応します。

⑤「全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会」に引き続き参加します。但し、建築士会ベースの集まりだが、多様なメンバーがいる KOMO の特徴を活かす活動提案が必要。

⑥ KOMO のメンバーが古材文化の会に入会し、会の活動にも積極的にかかわってもらえるよう働きかけます。

(4) 歴史ある建物調査室

①登録文化財や景観重要建造物の申請に関わる調書作成や、市町村からの委託調査を行います。

(5) 年輪年代学研究所

①建物の科学的な保全管理に必要な使用木材の同定や年代判定の必要性を所有者や市町村に啓発します。

②文化財建造物等の解体修理に伴う委託調査を働きかけます。

(6) プロジェクト

◆「残したい建物見守るシステム（仮称）」の検討と構築

①国土交通省の委託調査を活用して「残したい建物見守るシステム（仮称）」の検討と試験運用を KOMO を中心に行います。

②事業総括を行い、可能性があれば数年かけてシステム構築を行います。

◆第2期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）

①「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」の主催で、「第2期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）」を開催します。

②第2期上級講座は平成25年9月から26年8月の1年間で、評価・判定コースと保存・活用コースの2つのコースからなり、定員は各コース4名です。

◆第6期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）

- ①「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」の第6期を開催します。引き続き、会が育成講座の事務局を担当します。
- ②講座各期の修了者との交流・連携・スキルアップを図ります。

（7）情報広報活動

- ①会報「古材文化」の内容の充実を行います。
- ②ホームページを充実させ、会員の情報ネットの拡充を行います。
- ③会のMLによる情報提供を充実させます。
- ④他団体との情報交換を強化します。

（8）啓発活動・人材養成等の催事計画

古民家や古材の再利用、再活用の啓蒙に関する行事や伝統的木造建築技能を学ぶ体験型の講座などを開催します。

- ①歴史ある建築や文化遺産を訪ねる見学会 2回
- ②第19回全国集会 1回
- ③住まいの学校（1回で1講座） 3回
- ④先達の口伝 シリーズ1回
- ⑤KOMOFESTA 1回
- ⑥汗をかく実践講座 開催に向けて検討

* 第6期京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）1回 事務局担当

* 第2期京都市文化財マネージャー上級講座（建造物）1回 事務局担当

（9）会 議

・ 総 会：2013年11月2日（土）16:00～ 京都市中京区
先斗町歌舞練場 3F

- ・ 理 事 会：12回開催（毎月開催）
- ・ 事務局会議：12回開催（毎月開催）
- ・ 各 部 会：12回開催（毎月開催）
- ・ 会員及び登録マネージャー等によるプロジェクトを随時行います。